

適正利用・エコツーリズム検討会議の再編について (案)

【経 緯】

平成 22 年度 世界遺産委員会からの勧告等への対応のため検討会議を設置。

「知床エコツーリズム戦略」の策定が主要議題。

平成 24 年度末 戦略を策定。

※今後は戦略に基づく議論の仕組みを適正に運用していくことが基本。検討会議のあり方について、以下のとおり再編したい。

【検討会議の再編】

○今後、主体的にエコツーリズムに取り組むことが期待されない、各漁業協同組合、開発局、運輸支局、海上保安署、北海道警察については、各団体の意向を確認したうえで、構成員から除外（ただし、必要に応じて参加を依頼）。

○専門家は、委員と専門委員に分かれる。委員は、これまでのメンバーから 4 名程度とし、適正利用やエコツーリズムに関する総合的な知見又は地域の情報を有する専門家とする。専門委員は、自然環境、社会科学等の関連する分野の専門家とする。

・委員：検討会議に参加。必要に応じて部会に参加。

・専門委員：委員の専門分野以外の提案がされた場合に、必要に応じて検討会議及び部会に参加。これまでの検討会議の委員に加え、必要に応じて、他の専門家にも依頼。

【その他】

○新たな専門委員もメーリングリストのメンバーに追加し、検討会議の情報共有と意見交換を行う。

○今後とも、検討会議での議論等を踏まえて、必要に応じて検討体制を見直す。